

A: 中皮腫の原因の80%が職業での石綿曝露といわれています。事務職でも曝露のある産業もありますので、厚生労働省の「石綿ばく露把握のための手引き」をまず参照してください。次にお勤めしていたビルの吹き付け石綿からの曝露もありえますし、家族歴やお気づきでない環境曝露もあります。私たちのようなNPOに相談しながら、曝露の可能性を一つ一つ検証し、全く該当しない際に初めて「環境」中皮腫といえると思います。



http://www.jaish.gr.jp/information/mhlw/sekimen/h18_tebiki.html
Consensus Report. Asbestos, Asbestosis, and Cancer : the Helsinki Criteria for diagnosis and attribution : Scand J Work Environ Health 1997; 23: p311-316



028

Q: 子供の学校に吹き付け石綿(アスベスト)があり、空気中の石綿(アスベスト)濃度が10繊維/L以下なので安全だと言われました。本当にそうなのでしょうか？

A: 大気汚染防止法が、1980年代後半に石綿工場の敷地境界の濃度を当面10繊維/L以下に定めたことを基にした説明のようですが、正しくないと思います。厚生労働省は、産業現場での白石綿(クリソタイル)の管理濃度は150繊維/L、産業衛生学会もそれ以外の石綿の濃度は30繊維/Lとしています。この基準は作業現場で、18歳から数十年間1日8時間この石綿(アスベスト)濃度に曝露された場合に、1000人に1名が肺ガンと中皮腫になる濃度なのです。環境基準は一生で24時間の曝露ですから、10万に1人とか100万人に1名の健康障害以下になるよう、産業現場の100倍等の厳しい基準を求められます。大まかに考えても、産業現場の1/100以下であれば0.3繊維/Lや1.5繊維/Lとなるわけで、10繊維/Lで安全ということはありません。詳しくお知りになりたい方は、当センターのHPをご覧ください。



<http://www.asbestos-center.jp/asbestos/ATT00046.pdf>



029

Q: 現在の環境中の大気に含まれる石綿(アスベスト)濃度は、0.1~0.3繊維/Lと伺います。この濃度でも中皮腫がおこりうると聞きましたが、そうなのでしょうか？

A: 石綿は中皮腫や肺ガンをおこす発ガン物質で、閾値はないと考えられてきています。厚生労働省は、産業現場での白石綿(クリソタイル)の管理濃度は150繊維/L、産業

衛生学会もそれ以外の石綿の濃度は30繊維/Lとしています。この基準は作業現場で、18歳から数十年間1日8時間この石綿(アスベスト)濃度に曝露された場合に、1000人に1人が肺ガンと中皮腫になる濃度とされています。大まかな計算ですが、仮には百万に1人が作業現場で中皮腫と肺ガンになる濃度になると、白石綿の濃度は0.15繊維/L、それ以外の石綿の濃度は0.03繊維/Lとなります。現在の大気濃度で百万に1人の中皮腫・肺ガンが、「工場周囲ではない純粋な大気」により生じていることがわかります。詳しくお知りになりたい方は、当センターのHP、早稲田大学村山教授の論文をごらん下さい。

 <http://www.asbestos-center.jp/symposium20050828/5a.html>

030


Q: 大気中や建物内のアスベスト濃度を定めている国や例があれば、教えてください？

A: WTCの災害を受けてアスベストに関しては、以下のレベルがクリアランスの基準とされている。アスベスト:0.9f/L[*1]日本と比べ、厳しい規準での運用がなされている。アメリカは、更に州レベルで規制が行われている。多くの州は石綿を有害大気汚染物質(HAP)という扱いとしているが、ワシントン州では、 4×10^{-5} [f/ml] (4×10^{-2} [f/L]=0.04[f/L])という値を設けており(数式中の[]は単位)、これはEPAのユニットリスクから生涯死亡率10~5を考慮した値だと思われる。[*2]ドイツでは、労働環境に関する技術指針をBAUAという労働安全衛生の連邦機関(英語名は、Federal Institute for Occupational Safety and Health)が、2005年10月にTRGSというドイツ版技術指針を示しているが、519という中にアスベストに関する取り扱いを示している。石綿は一定の濃度以下なら安全とは言えないという考えにたち、あらゆる防護策を求めているが、0.5f/Lを下回る場合(同文中で濃度は立米表示だが、以下リットル表示で示す)は防護策を削減して良いとしている。以下に概要を示す。

- ・ TRGS900以降、大気環境に関する(石綿の)限界値はない。
- ・ 以下の例外を除いて、あらゆる防護策をとることが要求される。
- ・ 例外として、短期作業の場合(150f/L)、小規模曝露の場合(15f/L)のみ、括弧内の濃度の範囲内で、防護策を削減する余地ある。
- ・ アスベストが弱く固定された(飛散性)材料の除去修復作業に関して、以下の濃度を下回る場合にのみ、上記の規定が適用外になりうる。「VDI 3492 sheets 2」という規定に基づいて測定された結果が0.5f/Lを下回る場合(ポアソン分布に基づく95%上限値が1f/L)。

[*3][*4]

イギリスやフランスは、建物内の石綿濃度が電子顕微鏡(TEM)で一定濃度(25繊維/L)以上の場合に、吹きつけ石綿除去という基準を設けているようです。

- 
- [*1] World Trade Center Indoor Environment Assessment :Selecting Contaminants of Potential Concern and Setting Health-Based Benchmarks : The Contaminants of Potential Concern (COPC) Committee of the World Trade Center Indoor Air Task Force Working Group :1-57, May 2003
- [*2] TOXICOLOGICAL PROFILE FOR ASBESTOS :U.S. DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICES, Public Health Service Agency for Toxic Substances and Disease Registry (ATSDR): 197-204,September 2001
<http://www.atsdr.cdc.gov/naer/site-kit/pdffiles/ToxProf441pp.pdf>
- [*3] Guidelines for the assessment and restoration of weakly bound asbestos products in buildings (asbestos guidelines, January 1996)
- [*4] BAUA : Group 4,6 "handling chemicals, Asbestos Composition from regulations to the Inverkehrbringen and to Protection of the employees in the Federal Republic of Germany: Dortmund,, 1-4, October 2005
http://www.baua.de/de/Startseite.html_nnn=true



B)

建 材

B)-1 建材

031

Q: 20年前にA建設会社で家を建てました。A製品が天井と台所の壁に使われていました。天井はBという製品です。ぼろぼろと落ちてくることはありません。Aハウスに電話で聞いたところ、はっきりと答えずに困っています。

A: 全ての建材が網羅されてはいませんが、国土交通省・経済産業省の建材データベースが一つの参考になります。それでも不確かな場合は、再度電話でご相談ください。

 http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/07/071213_.html



032

Q: グラスウールが心配です。チクチクします。有害性はどのようなのでしょうか？

A: おっしゃるとおり、石綿(アスベスト)の代替製品で似た形状なので御心配も最もです。グラスウールは人造の繊維ですが、直径が石綿より太いこともあり、石綿のように肺への吸入が少ないことがあります。グラスウール工場での従業員や退職者への調査が1970年代以降行われましたが、中皮腫の発症はなく、肺ガンの発症もみずな結果となりました。ただし鉱物繊維ですので、従業員に「じん肺」は起きていましたし、皮膚炎も知られています。仕事で大量に吸入すれば、じん肺を起す物質ですが、石綿のような低濃度短期曝露でも中皮腫ということはないようです。



033

Q: 雨漏りがするので、壁と天井から ALC を剥がしました。鉄骨に被覆してあるのがむき出しのままになっています。

A: 吹き付け石綿があるのでしょうか？ 写真をお送りいただいて、吹き付けが疑わしいなら、設計図やサンプルで更に確認しましょう。

 図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005
<http://www.asbestos-center.jp/asbestos/byphoto/index.html>



034

Q: レンジフィルターが難燃性物質なので、これはアスベストでしょうか？ インターネットで調べるとアスベストではないと強調されてあるので不安です。

A: メーカーに問い合わせて材質を確認してください。ノンアスとアスベストの時期があると思いますがいかがでしょうか？ 使用しているようでしたら、また連絡してください。



035

Q: 全く触れる事のない状態なのですが、天井の板の上の断熱材にグラスファイバーが使われていて不安です。この製造元はもう倒産して存在していません。

A: ガラス繊維を扱う職業の方には、じん肺、肺ガンの可能性もあります。しかし天井の上で皆さんが吸入する状態ではないので、ご心配する必要はありません。



036

Q: 家の化粧石綿屋根の塗装が剥がれてきました。高圧洗浄で磨いて塗装をし直すのですが、石綿の飛散も心配です。高圧洗浄の危険性とその他の方法について教えてください。

A: 住宅に使用されている住宅屋根用化粧スレートは石綿含有のスレート板に塗装を施しているものが多く、数年の使用で表面が劣化して塗装面が剥がれてきます。耐用年数を延ばすためには塗り替えにより新たな塗装面で材料を保護する必要があります。しかし、化粧スレートの塗り替え時には古い塗料を剥がさなければ、新しい塗装をきれいに仕上げることができません。このときに強い水流を当てて塗料を剥がし落とす高圧洗浄装置が使用されます。高圧洗浄装置で化粧スレートを洗浄すると瞬間に表面の汚れと塗料を削り取ることができますが、同時に石綿を含むスレートも削っています。そのときの気中濃度は最高で1リットルあたり150本を超えることが確認されています[*1]。高圧洗浄している時は石綿の粉じんは霧状の水と一緒に飛散していますが、それが空気中で乾燥したり、どこかに付着してから乾燥したりすると石綿粉じんが飛散することになります。高圧洗浄は行わないことをお勧めします。替わりの方法はスレート屋根を剥がして石綿を含有していない他の屋根に葺き替えるか、また屋根を剥がさずに上に金属性の屋根を葺く方法、また最近では高圧洗浄せずに厚い塗装を施して、材料の強化と飛散防止をする工法があります。

 [*1] 産衛誌 48巻、2006、屋根用化粧スレートの高圧洗浄時の気中石綿濃度について



037

Q: アスベストが社会問題となっていますが、我が家はA社の製品を屋根に使っています。これにはアスベストが混入されているといわれますが、その安全性が心配です。見た目では塗りこめられた感じで毛羽立ったようなところはないので、飛び散ることはないような気がしますが、安全かどうかを確認したいと思いますのでよろしくお願いします。メーカーへ直接聞いてもおそらく安全だといわれると思います、そちらへお伺いするしだいです。

A: ○○ベストなどの住宅屋根の化粧石綿スレート板をご使用と思われるます。硬いスレート板で表面は塗装されているので飛散しないように見えますが、長年風雨にさらされると塗装面が剥がれ、徐々にスレートが露出してきます。重量と厚みは確実に減少しているので、それに伴い石綿が飛散している可能性は否定できないと思われます。飛散はしていてもごく微量のため、測定しても石綿は見つからず、またそれによる健康被害も現れていないので、メーカーなどは安全と言っているのだと思われます。現在でもスレート板の上に金属屋根をかぶせるように葺く対策工事や塗装でコーティングする対策工事などが開発されています。

 図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005
<http://www.asbestos-center.jp/asbestos/byphoto/index.html>



038

Q: 私が働いている職場にある建物にはアスベストが使われているものがいくつかあるのですが、このような職場で働いていてもやはり中皮腫になる可能性は高いのでしょうか？

A: 吹き付け石綿と、ボード等の石綿含有建材では飛散性が異なり、石綿含有建材ではまず心配ないと思います。吹き付け石綿は徐々に飛散し、建物での滞在時間が長い場合は、中皮腫や胸膜肥厚斑のような低濃度曝露で発症する疾患になる可能性があると考えられます。

 図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005



039

Q: 私は子供の頃から石綿スレートの屋根でできた家に住んでいました。よく子供のころ屋根の上で寝転がって見たり布団もこの屋根に干していましたが大丈夫でしょうか？現在30代になりますが屋根の上で遊んだのは小学校のとき2ヶ月に一回くらいで、寝転んだのは全部で10回くらいでしょうか。布団の方は屋根の建材が付着していた記憶はありません。

A: 10回ならまず問題ないと思います。スレートや石綿屋根に布団を頻回干したら健康影響はどうなるのか？今後の濃度測定等を考えていきたいと思います。



040

Q: 会社は小売しているのですが、お店のあるビルにアスベストが使用されているらしいです。どうやって検査をすれば良いのでしょうか？検査の方法などをお教え下さい。

A: (1)何年に建てられた建物か年代を確認します。(2)建物の図面を見ます。(3)気になる部分の写真を撮って相談します。以上の3点を行って、再度相談して下さい。

 図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005



041

Q: 私の自宅(マンション)を購入し、一部の部屋に防音工事をしました。メーカーに確認し施工業者より回答があり、この建材はノン・アスベストとのことでした。但し建材を削ったり切ったりして粉じんを吸い込むと呼吸器系に発病することもあるとの説明を受けました。施工業者の説明を信ずることしかできませんが、第2のアスベストになりうる危険もはらんでいるような気が致します。今は、アスベストのみが話題になっているようですが、将来これに類する建材も問題になるのでしょうか？

A: 無石綿の場合は、今後の問題はほとんどない代替物質が使用されています。「呼吸器に問題があると記載がある」のは、この建材を大量に切断する建築業者が、中皮腫以外の「じん肺」になる可能性があるからです。消費者には、御安心して頂いて良い建材かと思えます。

 国土交通省・経済産業省 建材データベース http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/07/071213_.html



042

Q: 私は学生でアパートで一人暮らししています。以前コンセントの調子が悪く、ネジを外し壁の内部が見える部分まで外した事がありました。その時、白い粉上の粉末状のものや、石みたいなもの、また白に黄色がかかった綿みtainのものがありました。私はアスベストを吸ってしまった可能性が高いのであろうかという事です。コンセントと壁の間の部分にも使うものなのでしょうか？ もし吸っていたとしたら、病院に行くなど何かしらの対策を早め取るべきでしょうか？

A: コンセント周囲の壁材は、多くは石綿非含有の石膏ボードだと思いますが、石綿含有のボードもあります。しかし1日の曝露ですから、石綿関連疾患の発症はまずゼロで、現時点での診察は不要です。

 国土交通省・経済産業省 建材データベース http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/07/071213_.html



B)-2 建材確認

043

Q: 1980年代に建造した築20年の自宅ですが、壁の中や天井裏にアスベストらしい断熱材が使用されているようで心配です。飛散することはないのでしょうか？

A: おそらくグラスファイバーの場合が多いと思います。石綿でない場合が多いので、一度写真をとって見て、アスベスト製品の写真と見比べてください。天井裏に関しては、リフォームしたり地震の場合がない限り、飛散することはありません。



044

Q: 自宅に、綿状の壁があります。日本家屋で土壁の中に綿の様な繊維がつけ加えているようですが、アスベストなのか心配です。

A: 日本家屋では、アスベスト入りの壁は極めて希です。また飛散しやすい状態ではありませんので安心してください。



045

Q: 個人住宅(鉄筋一戸建て)で1980年代前半、塗り壁の中にアスベストを混合した左官と大工さんから教えてもらいました。畳の部屋に壁があるのでそこらしいです。「赤土+アスベスト」の壁でボロボロした感じがあります。

A: 防寒等で民家にアスベストを使用した家が北海道を含め複数の報告があります。今後、経験の長い石綿除去業者さんに相談してください。防腐剤+上塗りでの対処できると思います。今後国による詳しい調査が待たれます。



046

Q: 1981年の建てものですが、倉庫にアスベストかロックウール(岩綿)の吹き付けがありました。アスベストが入っているのかどうか知りたいと思っています。店の天井裏にあります。

A: まず、アスベスト含有かどうか、HPでご覧ください。書籍「身近のアスベスト危険度診断(朝日新聞)」をご購入頂くのも参考になります。写真と比べてから、再度ご相談ください。分析が必要な場合かもしれません。

 図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、200
<http://www.asbestos-center.jp/asbestos/byphoto/index.html>



047

Q: 壁材が石綿の建物に住んでいます。10数年前に胃ガン、その後肝臓ガンにもなり寝たきりの状態です。心配です。

A: ご病気があり本当に大変ですね。石綿と関連するのは肺ガンや中皮腫で、胃ガンや肝臓ガンは石綿とは関係がないとされています。今回のご病気には石綿は関係してはいないと思います。お住いの石綿建材では、ボード類は飛散は少ないので切断しなければ大丈夫です。ヒル石(バーミキュライト)の天井にはご注意ください。



048

Q: 築40年の自宅でアスベストがあるのか心配です。屋根は日本瓦で土壁と木です。今年リフォームして天井をアスベストフリーにしました。唯一、台所の天井に丸い穴が開いている岩綿(ロックウール)吸音板が使用されていますが、ぼろぼろにはなっていません。私の健康は大丈夫でしょうか？

A: 吹き付け石綿のある建物ではないようですから、建物からの健康面でのご心配は不要かと思います。

 図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005
<http://www.asbestos-center.jp/asbestos/byphoto/index.html>



049

Q: 20年くらい前、1970年代建造の小学校の天井、廊下の階段に、白い吹き付けアスベストのようなものがありました。友達とちぎってダンゴにつくって遊んだり、天井をつついたりしたものです。小学校のあいだでこういう遊びは4~5回は友達としました。1[時間]×(4~5)[回/月]×3[年間]、10人で遊んでいました(数式中の[]は単位)。アスベストであったのかどうか、情報公開請求を用いて調査したいと思っています。

A: 石綿でなく岩綿(ロックウール)もありますので、まず資料での確認や、分析での確認をお薦めします。石綿非含有なら、今後の中皮腫はまず関係ない事になります。仮に10%以上の石綿含有等ですと、1時間と短時間ですが、10繊維/ml程度の高濃度曝露もありうる行為だと思います。確認しながら、今後のリスクの相談をさせて頂きたいと思います。



050

Q: S40年建築の壁で、ふかふかした白っぽい模様があります。石綿でしょうか?

A: 石綿の疑いもあります。アスベストセンターの本をご参考にして頂き、必要なら石綿分析の機関を紹介します。

 図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005



051

Q: S50年以降に増築した民家です。北側に綿黄色の断熱材を入れました。

A: おそらくグラスファイバーの場合が多いと思います。アスベストではない場合が多いので、一度写真をとって見て、アスベスト製品の写真と見比べてください。

 図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005



052

Q: 5～6年前に天井板をはり替えました。今回のものはA社の製品でノンアスベストですが、以前のものはアスベスト含有でしたので、それらから曝露はあったでしょうか？

A: アスベスト含有建材であり、ごく短期間の作業のようですから、心配ないと思います。



実践! 建設業のためのアスベスト対策?被害者にも加害者にもならないために?」, 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編,p1-115、建通新聞社,2007.1



053

Q: 住宅に断熱材が使われています。前の所有者が大量に入手したようです。現状は、掘こたつの内側に露出していて、かつ、物置に撒いた状態で保管しています。販売と施工の工務店に連絡して材質を尋ねてみます。

A: 材質を確認していただき、再度ご相談ください。



054

Q: S50年代後半家の押入れ、階段、壁の板に綿状のものが挟まれています。現在まで改築したことはありません。アルミ фоль 状のもので綿状のものがつつんであります。これらはアスベストでしょうか？

A: お話では、グラスファイバーと思います。わざわざ板をはがして触れることはせず密閉しておいてください。今後、解体などがあればその際にご注意ください。



055

Q: 築20年以上の家ですが、部分的に天井裏に保温材が使われています。現在まで改築はありません。隔離状態なので日ごろ触れることはありません。

A: お話では、グラスファイバーと思います。わざわざ板をはがして触れることはせず密閉しておいてください。今後、解体などがあればその際にご注意ください。



056

Q: 家の隣の古い銀行が解体新築予定で、アスベストの飛散が不安です。工事の内容は知りません。

A: アスベスト含有建材のある工事できちんと届け出があるならば、自治体か所轄労基署が工事を把握しているはずですが、電話してまず確認してみてください。もし肉眼的に吹き付け石綿等があり、届け出のない工事の可能性が高い場合は監督署と連絡して指導を要請する必要があるでしょう。問題がある場合はご相談ください。

 厚生労働省HP <http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/sekimen/hourei/index.html>



057

Q: 建築の壁や健康志向で各メーカー製品化している珪藻土、それらの製品の中にアスベストが使われているものか心配です。住宅の中で飛散して体に影響が出るのでしょうか？

A: 昔の珪藻土保温材には石綿を混合していました。但し珪藻土保温材の使用はボイラー室周囲の配管等で、民間家屋の室内での使用は稀です。最近新規に使用している珪藻土では、石綿含有は考えにくいと思います。



058

Q: 1950年代築のマンションの水道管工事に伴うことなのですが、屋根裏にアスベストの吹き付けが使われている可能性はあるでしょうか？

A: 日本の吹き付け石綿は1955年からの使用で、1950年代のビルでの使用は稀ですがないとは言えません。設計図面や実際に見てみて確認してください。



059

Q: 4年間使用した密室型風呂場の出入り口以外全ての全方位に石綿板が使用されています。中古住宅ですが、今は取り壊されて撤去済みです。資料が欲しいです。

A: 表面はペンキ塗装しており、且つ常に湿った状態(カビあり)だったので、入浴時のホコリはさほどではないでしょう。石綿含有建材は加工や、取り付け、取外しを行った際に問題で、そこにあるだけなら飛散はほとんどありません。



060

Q: 建築業者ですが、「A ファイバー」の中にはアスベストが入っていますか？（セルロースファイバー吹込み）断熱材、吸音にも、古新聞、木材、リグニンなど利用しました。現場で吹き込みをします。

A: どの製品にアスベストが入っているかどうかは、企業の情報提供が少なく問題でした。クボタ以降、情報提供する企業も増加し、経済産業省や国土交通省の建材DBが現状では内容が多い一つです。すべてを網羅していない部分もありますので、その点ご注意ください。

 国土交通省・経済産業省 建材データベース http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/07/071213_.html



061

Q: 下地調整剤の九州限定販売のA社のボンドにアスベストが入っていますでしょうか？マンションの壁のビニールクロスがはがれて、白い粉が落ちてきます。メーカーに問い合わせても返事がありません。

A: どの製品にアスベストが入っているかどうかは、企業の情報提供が少なく問題でした。クボタ以降、情報提供する企業も増加し、経済産業省や国土交通省の建材DBが現状では内容が多い一つです。すべてを網羅していない部分もありますので、その点ご注意ください。

 国土交通省・経済産業省 建材データベース http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/07/071213_.html



062

Q: 築30年のマンションなのですが、管理人より10m²の変電室内にアスベストらしい紙くず、パルプ状のものと聞きました。

A: 図面があるということなので見てください。アスベストであれば再度御連絡ください。

 図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005
<http://www.asbestos-center.jp/asbestos/byphoto/index.html>



063

Q: 物置にアスベストらしいものがあります。どのように処分したらよいでしょうか？ また、物置の中はアスベストが散々になっていますが、他のものは使用不可でしょうか？ 写真を同封します。

A: 写真を見る限り、グラスウールのように見えます。グラスウールの断熱材は、アスベストを含んでいないと思われるので、ポリ袋等に入れて廃棄してください。粉じんはアスベストではないと思われるので、濡れ雑巾でふき取って、粉が舞い上がらないようにしてください。一般の粉じんも、吸引しないほうが良いです。

 図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005
<http://www.asbestos-center.jp/asbestos/byphoto/index.html>



064

Q: 台所の天井ですが、ガスの上が防火材です。表面がザラザラしていますが、アスベストが不安で掃除できません。

A: まず、アスベスト含有かどうか、HPをご覧ください。書籍「身近のアスベスト危険度診断（朝日新聞）」をご購入頂くのも参考になります。写真と比べてから、再度ご相談ください。分析が必要な場合かもしれません。

 図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005
<http://www.asbestos-center.jp/asbestos/byphoto/index.html>



065

Q: 築5年前の団地で吹き付けのところで仕事をしました。あたらしい吹き付けはアスベストですか？ マスクをしていれば大丈夫ですか？

A: 吹き付けはロックウール(岩綿)の可能性が高いと思います。マスクをつけていても絶対に大丈夫とは限りません。気をつけてください。



066

Q: 市分譲の住宅に1年前に入居しました。台所の天井板が気になります。触ると白い粉のが出ますが、塗料でしょうか、それともアスベストなんでしょうか？

A: 特に問題はないと思います。ホームページをご覧ください。

 図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005
<http://www.asbestos-center.jp/asbestos/byphoto/index.html>



067

Q: S60年の鉄骨住宅でA社で自宅です。工事概要書でフレキシブルボードがあります。外はALCですが、心配ないでしょうか？

A: 通常使用では問題はありません。改築、解体時は注意してください。



068

Q: 1980年の建物ですが、各部屋の天井に90cm巾のグルグルまいたもので、色は黄色で、銀紙状のものがありません。

A: 黄色いのはガラス繊維で、そのままなら大丈夫です。

 図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005



069

Q: 実家の内壁に、ガラスのキラキラしたものと綿のようなものを塗り固めているところがあるのですが、アスベストでしょうか？

A: アスベストではないと思いますが、念のため、写真を送ってください。



070

Q: モルタルの表面、廊下や天井に2~3cmの綿織壁と呼ばれるものが吹き付けられています。アスベストでしょうか？

A: 写真をおとり頂き、書籍やホームページで製品をご覧ください。疑わしい場合は、分析も必要ですのでご相談ください。

 図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005
<http://www.asbestos-center.jp/asbestos/byphoto/index.html>



071

Q: 木造1階建ての建物に1人で住んでいます。内壁の間に断熱材が使用されています。破損はありません。

A: 密封して居住空間とは遮断されているので、日常生活には問題はありません。改修のときには業者と相談して安全対策をしてください。



072

Q: 天井が一部はがれているので心配です。業者は大丈夫と言っていましたが見ただけで何が大丈夫といえるのでしょうか？ 以前にアスベスト除去したことは知っていますが、きちんと確認したいです。

A: 自治体の営繕課へ問い合わせて、図面などで確認してもらってください。何か不明な点があれば再度お電話ください。



073

Q: 砂壁にアスベストがあるか不安です。古いのでかなり崩れています。

A: 砂壁用吹き付けには、稀に石綿含有の場合があります。環境測定機関に電話して相談してみてください。

 東京労働安全衛生センター石綿分析 http://www.metoshc.org/010_asbestos.html



074

Q: 体育館程度の古い二ツトリ舎(鉄骨 25年位)が5~6棟あります。黄色いものがブラ下がついているのを取外しました。まだ沢山あります。よくホコリがたったので心配です。

A: 成分は不明なので、材質を問い合わせてください。通常黄色の石綿はなく、グラスファイバーの可能性が高いと思います。



075

Q: 雨漏りのため天井の化粧紙を畳2枚分程外しました。内側が何か紙状でフワフワしています。修復の為正体を知りたいのですが、検査する気になれません。

A: とりあえず、表面を何かでカバーしてむやみに触れないように。当面は修復はしないで、検査するかどうか検討してください。



076

Q: マンションのリビングの床下の断熱材が板の隙間から見える状態です。ホコリも出ます。図面でアスベストを確認しました。現実の状況と異なるので業者に聞きたいのですが、違法工事でしょうか？ アスベストのメーカーや建築関係者は一般的な施工とは言えないと思っています。サンプルは容易に取れます。今後はマンションの組合にも報告します。場合によっては健康不安理由で除去も考えています。

A: とりあえず、図面をもとに施工業者に問うてみて、その後に市役所に建築時の申請書類等を尋ねてください。同時に、図面のコピーを送付していただければ相談に応じます。



077

Q: ①かつて学校の天井のアスベスト状のものを突っついて遊んでいたことがあります。②今の学校は大丈夫ですか？

A: ①2～3回程度なので心配無用です。②対策をすんだ自治体ですので今の学校は大丈夫と思います。自治体のホームページをご覧ください。



078

Q: 天井裏の綿状のもの正体はなんですか？

A: 現状では全く密閉されているのであえて正体を調べずとも構いません。将来、解体、改築の計画があれば分析することも可能です。

 東京労働安全衛生センター石綿分析 http://www.metoshc.org/010_asbestos.html



079

Q: 天井の断熱材がアスベストであると大工さんが言うので不安です。

A: 完全に覆ってあるので今は心配無用です。今後の解体、改築の時に注意してください。



080

Q: 新築1ヶ月の自宅の内壁、天井の断熱材なのですが、作業員がチクチクすると言っていました。

A: 写真ではグラスウールと思われるので安心してください。